

実習場面での
ケース学習の試み

連携のための

日本語教育実習研究会

参加費
無料

第8回
番外編

日時

2025年 7月19日(土)
10:00-12:00

場所

オンライン

テーマ

実習場面のケース教材を使って
さまざまな立場から考えてみよう

定員

30名

【内容】『日本語教育実習ワークブック(仮)』(北出慶子ほか編著, 凡人社)を2025年秋に刊行します。そのワークブックの最後に「発展編」として、**実習場面で起こり得るケース**について考えるための教材を取り入れます。今回の研究会では、その教材を題材として、参加者のみなさまと、実習の問題点や、より良い実習にするためにはどうすれば良いかを話し合いたいと思います。

【対象者】日本語教育人材育成にかかわる／関心のある方

大学教員、日本語学校教員、日本語教育を学ぶ大学生、関心のある高校生など

●申込締切日: 2025年7月11日(金)

●今後の予定: 第9回: 2025年8月3日(日)、第10回: 2025年9月27日(土)

テーマ:「日本語教育の参照枠」を取り入れた大学の養成課程と実習現場との連携

第9・10回の
詳細は
別チラシで

研究会の趣旨

日本語学校と大学の実習におけるより良い連携を目指して、本音で話し、ともに考える場づくりを2023年度より試みてきました。3年目となる2025年度もさらに広く・深くみなさまと議論を重ねたいと思います。

【主催者】

西村美保(清泉女子大学)・杉本香(大阪大谷大学)

山本弘子(カイ日本語スクール)・塩田朝子(南大阪国際語学学校)

問い合わせ先: nishimura(a)seisen-u.ac.jp(東京)

sugimokao(a)osaka-ohtani.ac.jp(大阪)

本研究会は、科学研究費(基盤B)プロジェクト「理論と実践の往還を通じた越境的学びによる日本語教師養成プログラム開発と検証」(代表:北出慶子 立命館大学)の助成を受けて実施します。

お申し込みはこちらから↓



<https://forms.gle/G2pXZcraYDEEgdqZ7>